



# 山形県感染症発生動向調査

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)

TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486

URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>

平成28年第49週(12月5日~12月11日)

2016年12月13日 発行

## <定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少 ※     :警報レベル     :注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第48週	第48週	第49週	増減	第48週	第49週	増減	第48週	第49週	増減	第48週	第49週	増減	第48週	第49週	増減	
<b>インフルエンザ</b>	12334	60	70	▲	16	17	▲	1	2	▲	36	40	▲	7	11	▲	14163
	2.49	1.25	1.46		0.80	0.85		0.20	0.40		3.60	4.00		0.54	0.85		
<b>小児科定点</b>		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
RSウイルス感染症	3054	38	33	▼	18	15	▼	2		▼	7	9	▲	11	9	▼	1545
	0.97	1.27	1.10		1.38	1.15		0.67			1.17	1.50		1.38	1.13		
咽頭結膜熱	1358	8	12	▲	7	7			2	▲	1	3	▲				706
	0.43	0.27	0.40		0.54	0.54			0.67		0.17	0.50					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7628	234	196	▼	108	101	▼	4	2	▼	54	42	▼	68	51	▼	7078
	2.41	7.80	6.53		8.31	7.77		1.33	0.67		9.00	7.00		8.50	6.38		
感染性胃腸炎	54876	1004	1361	▲	447	619	▲	96	52	▼	317	406	▲	144	284	▲	11049
	17.37	33.47	45.37		34.38	47.62		32.00	17.33		52.83	67.67		18.00	35.50		
水痘	1967	18	18		9	12	▲				4	2	▼	5	4	▼	561
	0.62	0.60	0.60		0.69	0.92					0.67	0.33		0.63	0.50		
手足口病	1918	4	4		1	2	▲				1	2	▲	2		▼	391
	0.61	0.13	0.13		0.08	0.15					0.17	0.33		0.25			
伝染性紅斑	401	4		▼	1		▼				2		▼	1		▼	1462
	0.13	0.13			0.08						0.33			0.13			
突発性発しん	1418	22	10	▼	7	1	▼	3		▼	7	7		5	2	▼	933
	0.45	0.73	0.33		0.54	0.08		1.00			1.17	1.17		0.63	0.25		
百日咳	38																20
	0.01																
ヘルパンギーナ	388	5	2	▼	2		▼	2		▼		2	▲	1		▼	2934
	0.12	0.17	0.07		0.15			0.67				0.33		0.13			
流行性耳下腺炎	3331	63	57	▼	18	13	▼	17	4	▼	26	39	▲	2	1	▼	2894
	1.05	2.10	1.90		1.38	1.00		5.67	1.33		4.33	6.50		0.25	0.13		
<b>眼科定点</b>		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	5																1
	0.01																
流行性角結膜炎	496																65
	0.72																
<b>基幹定点</b>		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	8																20
	0.02																
クラミジア肺炎	4																4
	0.01																
マイコプラズマ肺炎	536	7	6	▼	6	5	▼	1	1								164
	1.13	0.70	0.60		1.50	1.25		1.00	1.00								
細菌性髄膜炎	6																7
	0.01																
無菌性髄膜炎	25																13
	0.05																

## <全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者			1	1	
E型肝炎	患者			1		

## <通信欄>

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ			4	3	1	2	9	1		2	5	23	2	1	
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79	80歳～									合計
	7	4	5	1											70
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	4	10	9	8	1	1									33
咽頭結膜熱			4		3	3	2								12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			2	12	17	19	30	21	23	19	16	34	2	1	196
感染性胃腸炎	4	26	112	114	116	184	173	169	101	89	46	163	9	55	1361
水痘		2	1	1	2	1	3	3	1		3	1			18
手足口病			1	2	1										4
伝染性紅斑															
突発性発しん		5	5												10
百日咳															
ヘルパンギーナ		1	1												2
流行性耳下腺炎				8	7	8	12	10	5	3	3	1			57

<平成28年11月 月報>

2016年12月13日 作成

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～11月	
	10月	11月	10月	11月	10月	11月	10月	11月	10月	11月		
<b>STD定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	24	23	11	10	10	8	2	2	1	3	214
	定点当り	2.40	2.30	2.75	2.50	10.00	8.00	1.00	1.00	0.33	1.00	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	9	6	3	2	1	1	4	3	1		68
	定点当り	0.90	0.60	0.75	0.50	1.00	1.00	2.00	1.50	0.33		
尖圭コンジローマ	報告数	3	1	1				1		1	1	30
	定点当り	0.30	0.10	0.25				0.50		0.33	0.33	
淋菌感染症	報告数	4	3	1				1	1	2	2	25
	定点当り	0.40	0.30	0.25				0.50	0.50	0.67	0.67	
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)	(9)		(4)		(1)		(2)		(2)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	4	7		3	2	2			2	2	62
	定点当り	0.40	0.78		0.75	2.00	2.00			0.67	1.00	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	22	15	11	7	1	3	1	1	9	4	188
	定点当り	2.20	1.67	2.75	1.75	1.00	3.00	0.50	0.50	3.00	2.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											
	定点当り											

<トピックス>

【インフルエンザ情報】

1 定点医療機関情報(第49週)

迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数

村山地区:A型 16件、B型 1件

最上地区:A型 2件

置賜地区:A型 40件

庄内地区:A型 11件

2 インフルエンザウイルス分離状況(衛生研究所 12月7日現在)

今シーズン、県内では、AH1pdm2009型 5株、A香港型

2株が分離されています。

3 集団発生状況(県健康福祉企画課まとめ 第49週)

庄内地区:高校 1件

インフルエンザは、毎年、冬に流行し、私たちの健康に大きな影響を及ぼす代表的な呼吸器感染症です。感染力が強く、いったん流行が始まると短期間に多くの人へ感染が拡大します。

手洗いでインフルエンザを予防し、かかったら、マスク等咳エチケットを心がけましょう。

こまめな手洗いと  
マスク着用を心がけ、  
体調管理に努めましょう。  
「かかったかな」と思ったら、  
早めに医療機関を受診しましょう。



【感染性胃腸炎情報】

過去10年間で最も多い報告数が、第47週より続いています。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、県平均では、45.4人、地区別では、村山地区は47.6人、最上地区は17.3人、置賜地区は67.7人、庄内地区は35.5人となり、県全域で警報レベルとなっています。

【警報開始基準値:20人 警報終息基準値:12人】

感染性胃腸炎とは

感染性胃腸炎は、冬季に患者数が増加し、その大半はウイルス感染によるものと推測される感染症です。また、年末の集団発生例の多くは、ノロウイルスによるものと考えられています。

【症状】病原体によって異なりますが、主な症状は嘔吐、下痢、発熱です。

治療は、ウイルス性のものであれば対症療法が中心となります。

【予防法】最も重要で、効果的な予防法は「流水・石けんによる手洗い」です。

トイレ後、外出後、調理前、配膳前、食事前など、こまめに手洗いをしましょう。

特にノロウイルスは感染力が強く、注意が必要です。

二枚貝を調理する際は中心

部まで十分に加熱し、使用した器具は熱湯消毒しましょう。

嘔吐物や下痢便にはノロウイルスが大量に含まれています。処理する際は、マスク・手袋を着用してください。

消毒は塩素系消毒剤で行う必要があります。消毒に家庭用漂白剤を使用する場合は、200倍程度に薄めて使用して下さい。

※参考URL:IDWR 2012年第43号<注目すべき感染症>感染性胃腸炎

http://www.nih.go.jp/niid/ja/intestinal-m/intestinal-idwrc/2923-idwrc-1243.html

